

すみだ北斎美術館 入館者100万人達成記念

「勝手に！北斎賞」受賞者の皆様 (敬称略)

功労賞

北斎祭り／北斎通りまちづくりの会・弘前市

「北斎祭り」は、北斎通りまちづくりの会が当館開館前の2006年より毎年秋に開催し、地域住民が北斎に親しみを持てるような活動を展開している。また、緑町公園が弘前藩(津軽家)の上屋敷跡であったことに由来して、弘前市(弘前ねぷたの運行等)などの協力を得て開催していることから、多くの人々の交流の場となり、さらには、当館を取り巻く多様なつながりの基盤にもなっている。

みんな北斎プロジェクト(墨田区障がい者福祉プロジェクト)

2016年の当館開館を記念するプロジェクト「全国障害者アート公募展」の実施をはじめ、JTとの協働により錦糸町駅北口・両国駅西口の公衆喫煙所をアートギャラリー「みんな北斎浮世絵巻」として彩るなど、北斎をキーワードにした共生社会づくりを推進している。

「フウガドールすみだ」のユニフォーム／フウガドールすみだ

「フウガドールすみだ」は、墨田区をホームタウンとするフットサルクラブで、日本フットサルリーグに加盟している。当館の開館前から、ユニフォームデザインに北斎作品を取り入れており、多くのスポーツ愛好家の方々に“すみだ×北斎”を広めている。

綴プロジェクト(文化財未来継承プロジェクト)

キャン株式会社・特定非営利活動法人 京都文化協会

貴重な文化財のオリジナルをより良い環境で保存しながら、高精細複製品を制作し、有効活用するプロジェクト。2019年には米国のスミソニアン協会国立アジア美術館が所蔵する北斎の肉筆画13点の高精細複製品を墨田区に寄贈した。その作品は、当館の展示事業等で活用している。

特別賞

高橋 正実

墨田区出身のデザイナーとして、2007年の「ナリタ北斎プラザ」(成田国際空港第一旅客ターミナル中央ビル)の空間デザインをはじめ、“すみだと北斎”とのつながりをデザインで発信。2024年1月の「ひがしん北斎ギャラリー」のリニューアルでは、区内初の北斎のブロンズ像設置を含めたデザインに取り組んだ。

堅あげポテト(北斎パッケージデザイン)／カルビー株式会社

2020年(北斎生誕200年)、“生活に身近なお菓子を通じて日本文化の素晴らしさを発信する”という趣旨で、北斎作品をパッケージデザインに採用。翌年より「堅あげポテト」のパッケージに当館所蔵の北斎作品を採用し、2023年には第4弾を販売。パッケージには、当館施設情報も掲載されており、認知度向上に大きく貢献している。

未来賞

目黒 龍一郎

「葛飾北斎博士ちゃん」として知られており、小学生の頃から北斎になりたいと思って、日々努力している中学生。専門家が驚く程の知識を持っており、国際北斎学会特別顧問でもある。また、自身の画力も高い。北斎に魅了され、頑張っている少年の今までの努力、将来の浮世絵、北斎継承者として期待・応援する。

黒田 創

キューブアーティスト。北斎と誕生日(新暦)が同じで、北斎が大好きな小学生。北斎作品を立体キューブで制作しており、そのクオリティも高い。また、キューブアートを制作するだけでなく、21秒で揃える技術も持っている。今後の活動を期待・応援する。